

水道の豆知識

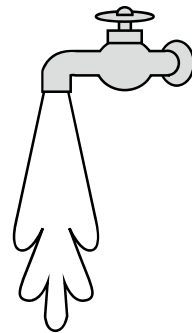
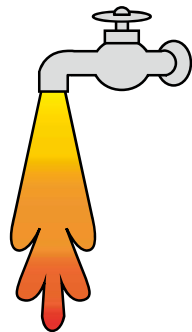
水道水のご利用に際して

企業局では安全で良質な水道水を供給しており、通常の使い方では問題ありませんが、長い間、家を留守にしたときや朝一番の水道水は、給水管内に長時間滞留しており、消毒用の塩素が少なくなったり赤水の発生するおそれがあります。また、給水管に鉛管を使用されているご家庭などでは、ごく微量の鉛が溶け出すことがあります。

念のため、最初のバケツ1杯分程度は飲用以外にお使いください。

●赤い水

水道工事や断水などで、水道管の中を流れている水の速さや方向が変わったとき、蛇口から赤い水が出ることがあります。これは管の中の鉄さびが原因です。しばらく水を出しておくときれいになります。



●白い水

水とともに小さな気泡(空気)が流れ出たためです。しばらくするときれいになります。

●塩素臭について

水道水には安全性を確保するために塩素(消毒用の薬)が入っています。このため水道水には若干の塩素臭がありますが、健康には影響ありません。



●ガタガタ音がするとき

蛇口や水道管からガタガタ音がすることがあります。これは流れていた水が急に止まったときに、圧力が水道管の曲がった部分や蛇口のコマにあたって生じます。そのほか蛇口のコマやパッキンがいたんでいるときにもおこることがあります。



水道の上手な使い方

あなたは水をムダにしていますか。水は私たちの日常生活にとって欠かすことのできない大切なものです。水の上手な使い方を工夫してみましょう。



- 蛇口はこまめにしめて、水をムダなく使いましょう。
- 洗たくものは洗剤あらいの後に必ず脱水しましょう。すすぎの前に一度脱水すれば洗う水の節約になります。
- お風呂の残り水は洗たく、掃除、水まきなどに使いましょう。
- 放水しながらの洗車はやめましょう。
- 職場・駅・公園などでも、ムダな使い方はやめましょう。
- 散水栓(共用栓)は、所有者もしくは管理者が適正に管理して節水に努めましょう。

震災時の飲料水(震災の備え)

日ごろから飲料水の確保を

企業局では、震災に備え、管路や施設の耐震化を進め、応急給水体制についても万全を期しているところですが、震災時には混乱が予想され、企業局からの応急給水が開始されるまで時間がかかることがあります。

万一に備え、日ごろから飲料水を確保する習慣をつけましょう。

1人1日3ℓを3日分

フタのできる清潔な容器で、飲料水の確保を

直射日光を避けて保存

3日に一度はくみかえを

